

令和5年度  
インキュベーションラボ  
募集要領

令和5年12月26日（火）  
独立行政法人 情報処理推進機構  
デジタルアーキテクチャ・デザインセンター

## 1. インキュベーションラボについて

### (1) 趣旨

インキュベーションラボとは、デジタルアーキテクチャ・デザインセンター（以下、DADC）が取り組むべき、ソフト・ハードに限らず、制度・ルールも含む社会や産業構造のアーキテクチャのアイデア（テーマ）を、その実現に関心のある民間企業等から募集する枠組みです。

DADC では Society5.0<sup>※1</sup> の実現に向け、社会システムや産業構造の最適な連携等を通じ、その総合的な信頼性等の確保と日本の産業競争力の強化を図ること、また社会的課題を解決することを目的とする活動の一つとして、多様なステークホルダーの参画を得て、透明性、公平性、中立性を確保しつつ、社会システムや産業構造の全体の見取り図である「アーキテクチャ」を設計し、デジタル時代に必要となる分野横断的な社会インフラを構築することを目指します。

※1 サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）  
（参考 URL : [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/)）

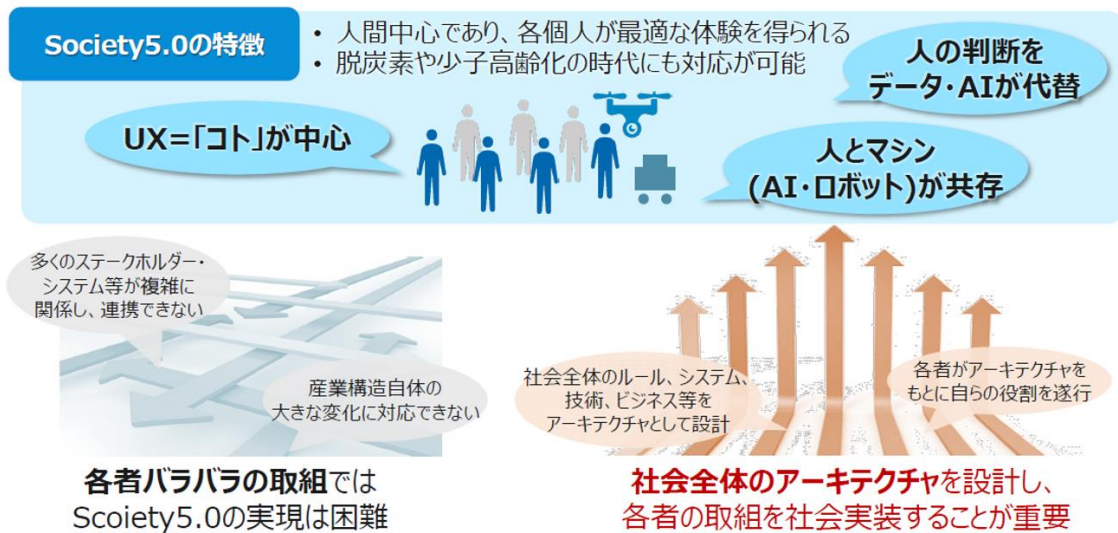


図1 Society5.0にむけたアーキテクチャの必要性

- Society5.0の実現に向けて社会実装を行う政府・民間からの依頼を受けて、グローバルな動向を踏まえながら、産学官の卓越したリーダーシップ・専門性を有する人材が一堂に会し、Society 5.0の実現に必要なアーキテクチャを設計する。

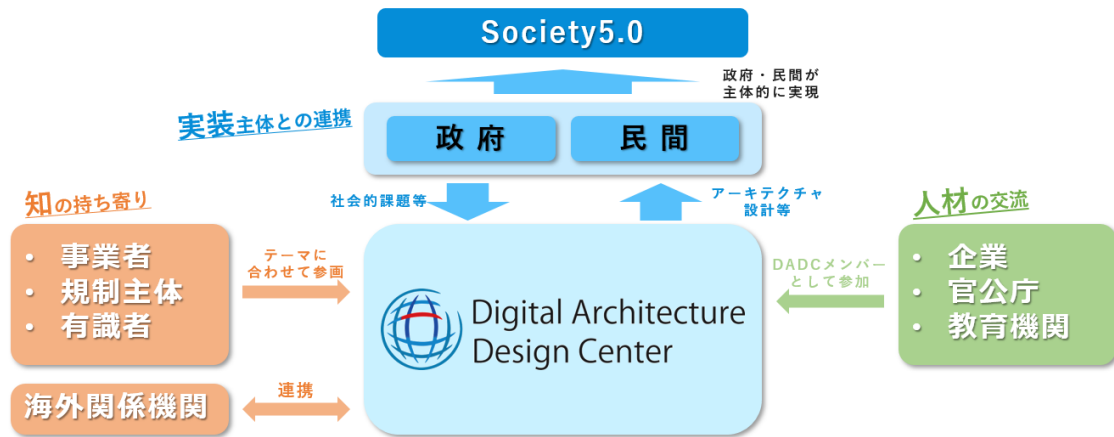


図2 DADC の位置づけ

今回、インキュベーションラボの第4回の募集を2023年12月26日(火)より開始いたします。外部有識者審査(ゲート1)で有望と判定されたテーマの提案者は、6ヶ月を目安に、DADCを拠点にその中立的な立場を活用して産官学の専門家と連携し、Society 5.0の実現を目的としたアーキテクチャ設計に向けた準備・設計の試行を行います(図3)。活動の結果が、優れたアイデアであると外部有識者審査(ゲート2)で判定された場合、正式に社会のアーキテクチャ設計を行うプロジェクトとして、活動に賛同するステークホルダーを集め、関係省庁や事業者団体とも連携し、協調領域の構築を目指して活動します。

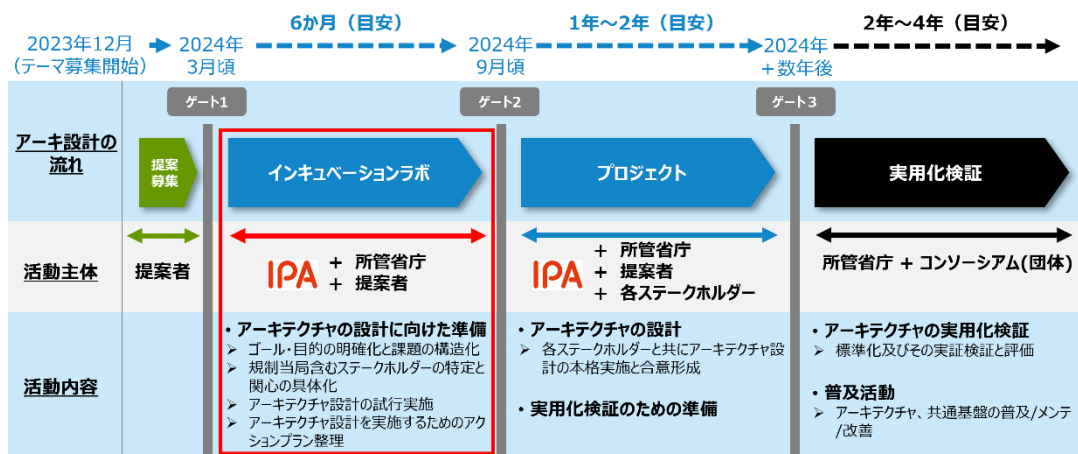


図3 インキュベーションラボとアーキテクチャ設計の位置づけ (イメージ)

## (2) インキュベーションラボでの活動内容と DADC による支援内容

インキュベーションラボでは、アイデア（テーマ）を提案した民間企業等やそれに関連する組織等からのメンバーが中心となり、アーキテクチャ設計に向けて、以下の活動を行います。またその推進のために、DADC による支援として、アーキテクチャ設計の専門的支援や、中立的な立場から産官学の知や多種多様な専門家と繋がる機会を得ることができます。

### 【インキュベーションラボでの活動内容】

- 目指すべき将来のビジョン・ゴール、提案したアイデア（テーマ）のもたらす社会的な価値、その実現のために必要となる技術、対象となる産業領域、ステークホルダーの整理・構造化
- 対象分野の国内外の技術、ビジネス、規制等の検討状況の整理
- 実現のために解くべき課題の明確化、解決に向けた仮説立案
- アーキテクチャ設計の試行
- アーキテクチャ設計を実施するためのアクションプランの策定、社会実装までのロードマップの検討等

### 【DADC による支援内容】

- 対象分野の関連企業、有識者、関連省庁等と繋がる場の設定
- アーキテクチャ設計に関連する海外動向等の基礎調査の支援
- アーキテクチャ設計試行の支援 / 等

## 2. 募集要項

### (1) 募集対象

本制度における募集対象は、企業、研究機関、学校、市民等によって構成される組織・団体等（以下「組織」）とします。活動主体の所在は問いません。

### (2) 提案方法

以下の手順により、提案を行ってください。

1	提案書類の 入手・確認	DADC公式サイトより、以下の書類をダウンロードし、 内容を確認してください。 ( <a href="https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/lab/about.html">https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/lab/about.html</a> ) (A) インキュベーションラボ募集要領（本資料） (B) インキュベーションラボ提案書（様式①②）
2	提案書類の提出	提案組織は本要領に従い提案書類（B）を作成し、 提出期限及び提出先に基づいて提出ください。 <b>提出期限：2024年1月31日（水）17時</b> <b>提出形式：提案書類（B）をダウンロードし、内容記入の上、 PDF化したもの。（PDF化は必須です。）</b> <b>*PDF形式以外の資料は受領しません。</b> <b>提出先：<a href="mailto:dadc-lab@ipa.go.jp">dadc-lab@ipa.go.jp</a> にメール添付による送付</b>
3	提案完了	提出された提案書類の到着をもって、提案完了とします。

※選定後に、採択テーマについては、提案組織の事前の承諾を得た上で、必要に応じて要約・編集等を行った上で、公開する場合があります。

※本募集の内容、手続き、提出書類等についてご質問がある場合には、「問い合わせ」の宛先に E-mail にてお問い合わせください。

### (3) 募集期間

募集期間：2023年12月26日（火）～2024年1月31日（水）17時

### 3. 審査

---

#### (1) 審査の視点

インキュベーションラボのテーマ選定にあたっては、下記の視点で評価選定を行う予定です。

DADC の特徴である、(A)サイバー・フィジカルの融合 (CPS)、(B)異分野連携、(C)制度やルールを含むガバナンス改革、も下記視点に含まれています。

- 日本の生活者の利便性向上に寄与し、かつ市場拡大の可能性が見込めるか
  - > Society5.0 の実現に寄与し、分野横断的かつ社会的課題に対するソリューションとしての展開が見込めるような、CPS を前提とした生活や産業の新たな基盤に関する課題・テーマであること
- 産業の国際競争力の強化につながるか
  - > 市場の国際化が加速し、我が国産業の競争力の強化あるいは産業構造の再定義が必要とされている分野であること
- 多分野の様々なプレーヤーが関与し、標準等を定めることで効果があるか
  - > 複数の規制当局や既存、新規の産業界のプレーヤー、コアとなるユーザー等のステークホルダー及びそれぞれの考え方の多様性が高く、アーキテクチャの設計により課題の解決が見込めるもの
- 単なるアプリケーションではなく、インフラやルールの形成に寄与し、横展開可能か
  - > ルール・規制の再設計や社会のガバナンスの再定義等も解決手段として想定されること

#### (2) 審査手順

提案されたテーマの採択は、DADC において開催される有識者会議による審議を経て決定します。

審査に当たっては、追加資料の提出や追加の説明、審査員への短時間のプレゼンテーションをお願いする場合がありますので、予めご了承ください。

## 4. 公表

---

### (1) 審査結果の発表

審査の結果、採択されることとなったインキュベーションラボの取組を推進するテーマ概要を DADC 公式サイトに掲載します。

【参考：第3回採択結果】

[https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/lab/lab\\_activity.html](https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/lab/lab_activity.html)

※提案書類等の記載内容に事実と異なることや他の権利等の侵害があると判明した場合など、発表後であっても選定を取り消し、又は、留保することがあります。

※選定前後に関わらず、提案書類に記載した内容に変更が生じた場合、インキュベーションラボ事務局へ早急に連絡し、実施計画書を再提出する必要があります。

※選定後に、採択テーマについては、必要に応じて

要約・編集等を行った上で、提案組織の事前の承諾を得て公開する場合があります。

### (2) インキュベーションラボの取組成果の発表

インキュベーションラボでの取組成果は、取組実施期間を終えたタイミングで DADC 公式サイトに掲載・公開されます。

【参考：第3回審査結果】

[https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/lab/lab\\_activity.html](https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/lab/lab_activity.html)

技術情報流出防止の観点から、検討において参加者により作成される資料等の内容及び公開時期につき、参加者と相談のうえ適切な運用を図ります。

## 5. 実施スケジュール

---

募集期間：2023年12月26日（火）～2024年1月31日（水）17時

審査期間：2024年3月以降（予定）

結果公表：2024年4月以降（予定）

取組実施期間：開始日から6か月

（開始日は、6. 採択後の契約事項を締結し、取組を開始した日）

## 6. 採択後の留意事項

---

### (1) 人事関連手続き

採択後のプロジェクト参加にあたり、IPAとの間で「研究員の出向にかかる覚書」または「専門委員の委嘱にかかる覚書」を締結していただきます。

### (2) 知的財産権

DADCとして設計するアーキテクチャは、社会の基盤として様々なステークホルダーが広く活用することを想定しているため、インキュベーションラボ取組の成果には誰でも円滑かつ容易にアクセスできることが原則となります。また、インキュベーションラボの取組みはIPAとしての活動となるため、原則として成果物の知的財産権はIPAに帰属します。

他方で、仮に議論の過程においてステークホルダー間の知的財産権が絡む場面が生じる場合には、こうした原則に配慮した上で、参画するステークホルダー間（DADCも含む）で知財の取り扱いを都度検討していく方針です。

また、活動情報の公開や外部発表等の取扱いについては、採択後に別途提供する「インキュベーションラボ活動ガイドライン」に準拠していただきます。

### (3) 秘密保持

採択後のプロジェクト参加にあたってIPAとの間で締結する「研究員の出向にかかる覚書」または「専門委員の委嘱にかかる覚書」に準拠していただきます。

## 7. 問い合わせ先

---

本件に関するご意見・お問い合わせは以下の連絡先へお寄せください。

IPA デジタルアーキテクチャ・デザインセンター  
インキュベーションラボ運営事務局  
E-mail : [dadc-lab@ipa.go.jp](mailto:dadc-lab@ipa.go.jp)

以 上